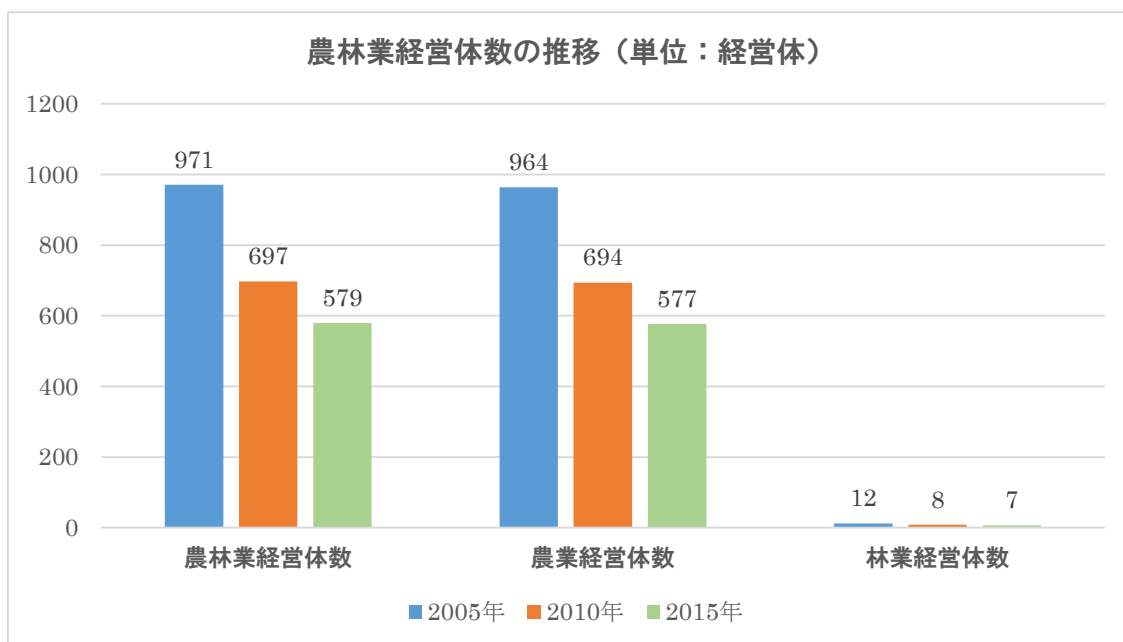


2015年農林業センサス結果の概要(概数値)【小都市版】 (平成27年2月1日現在)

農林水産省は、「2015年農林業センサス結果の概要(概数値)(平成27年2月1日現在)」を取りまとめ、平成27年11月27日公表しました。それに基づき小都市分を取りまとめたものです。

1. 農業経営体数



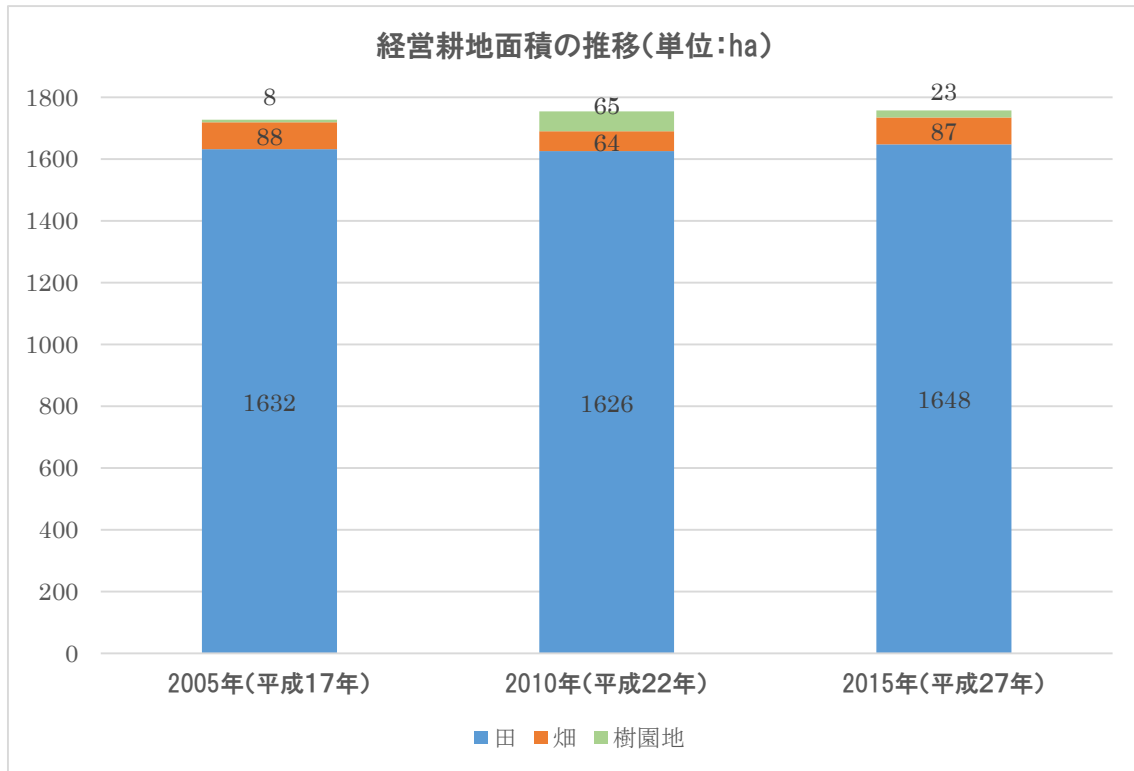
| | 農林業経営体数 | 農業経営体数 | 林業経営体数 |
|--------------|---------|--------|--------|
| 2005年(平成17年) | 971 | 964 | 12 |
| 2010年(平成22年) | 697 | 694 | 8 |
| 2015年(平成27年) | 579 | 577 | 7 |

(※農業経営体数と林業経営体数の合計が農林業経営体数と合致しないのは、農業と林業を兼業している経営体があるため)

農林業経営体数は平成27年2月1日現在で、579経営体で、5年前と比べて118経営体(17%)減少し、10年前と比べると392経営体(40%)減少した。

そのうち、農業経営体数は5年前、10年前と比べてそれぞれ117経営体(17%)、387経営体(40%)減少した。

2. 経営耕地面積



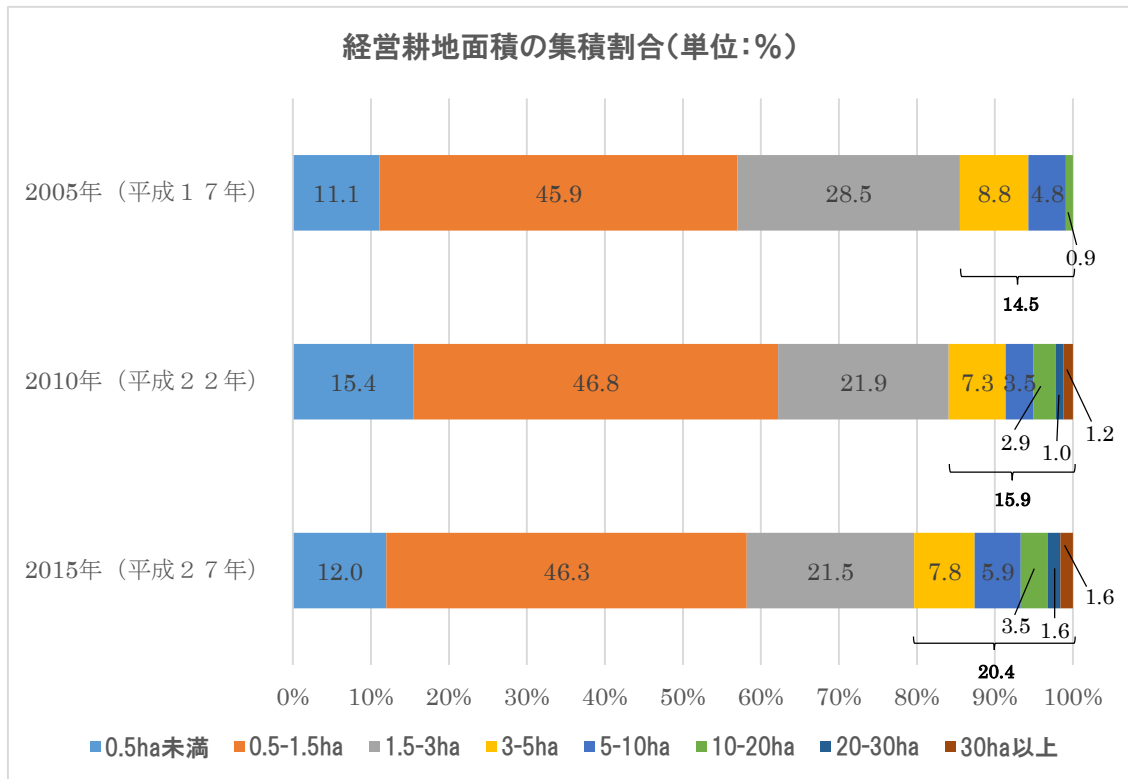
| | 経営耕地総面積 | | | |
|--------------|---------|----|-----|------|
| | 田 | 畑 | 樹園地 | |
| 2005年(平成17年) | 1632 | 88 | 8 | 1728 |
| 2010年(平成22年) | 1626 | 64 | 65 | 1754 |
| 2015年(平成27年) | 1648 | 87 | 23 | 1758 |

(※端数処理の関係上、田、畑、樹園地面積の合計と経営耕地総面積が異なる年がある)

農業経営体の経営耕地面積は平成27年2月1日現在で、5年前と比べて4ha(ヘクタール)増加し、10年前と比べて30ha増加した。

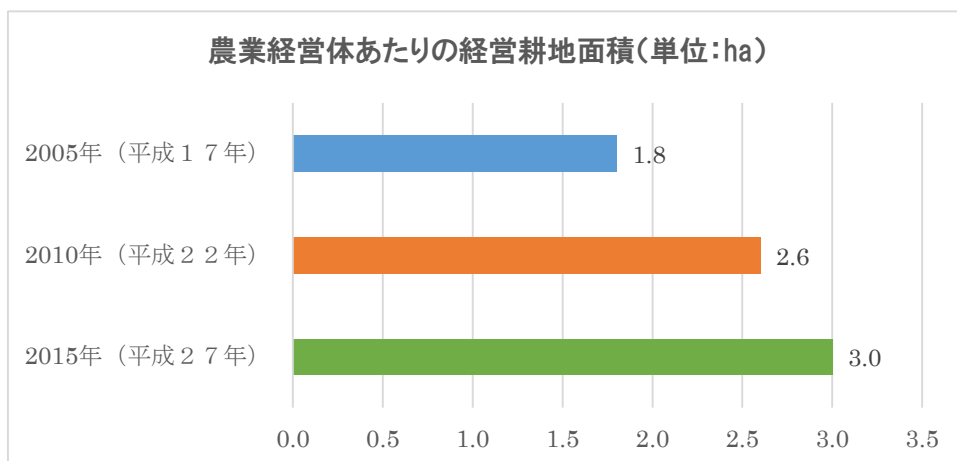
そのうち田の面積は5年前、10年前と比べてそれぞれ22ha、16ha増加した。

3. 耕地面積の集積割合



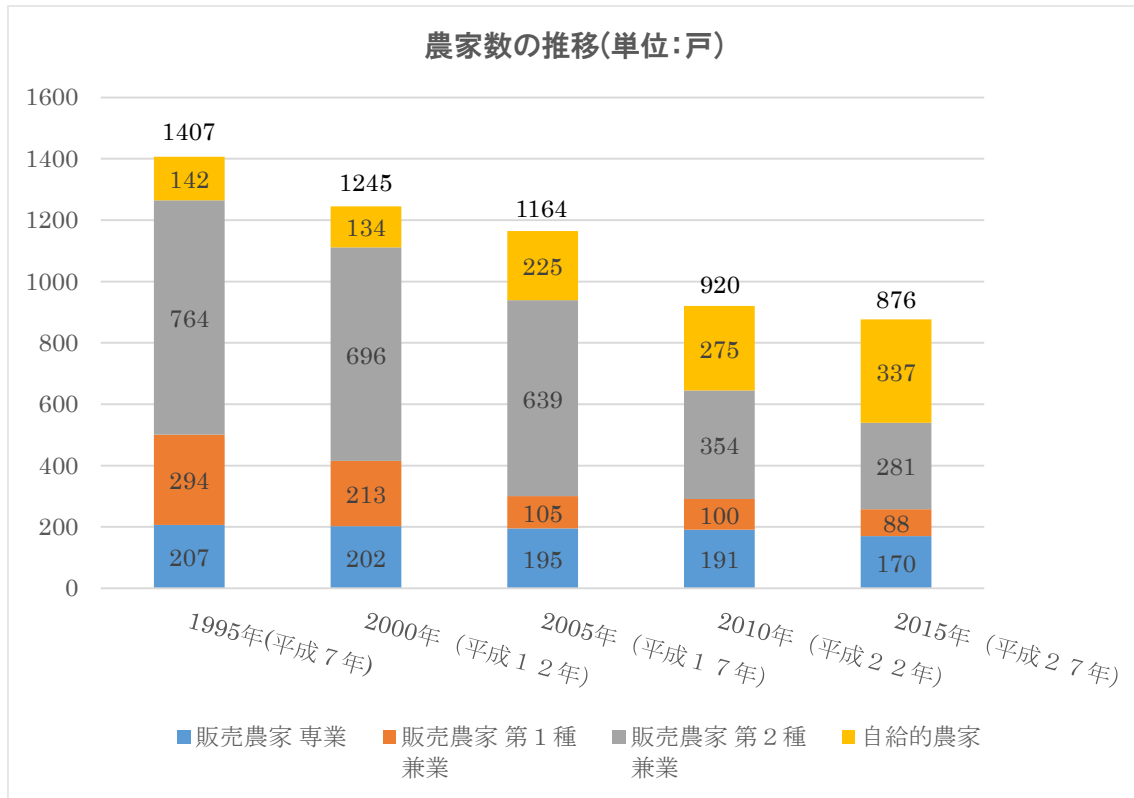
農業経営体の経営耕地面積規模別に経営耕地面積の集積割合をみると、3ha以上の農業経営体が20.4%となり、5年前と比べて4.5ポイント、10年前と比べると5.9ポイント増加した。

4. 農業経営体あたりの経営耕地面積



経営体一人あたりの経営耕地面積は、3.0haで、5年前と比べ0.4ha、10年前とは1.2ha増加した。

5. 農家数

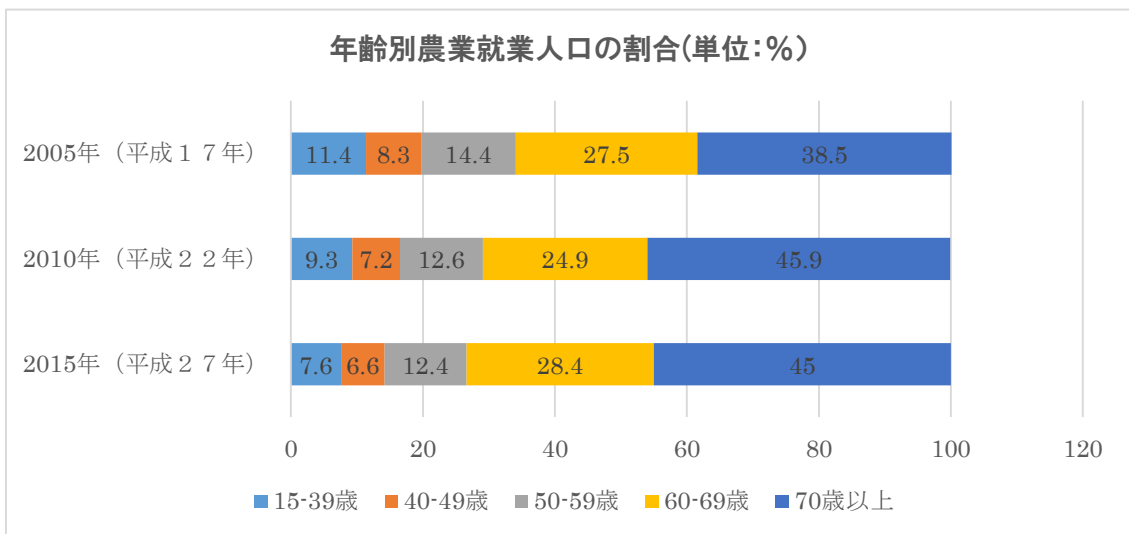
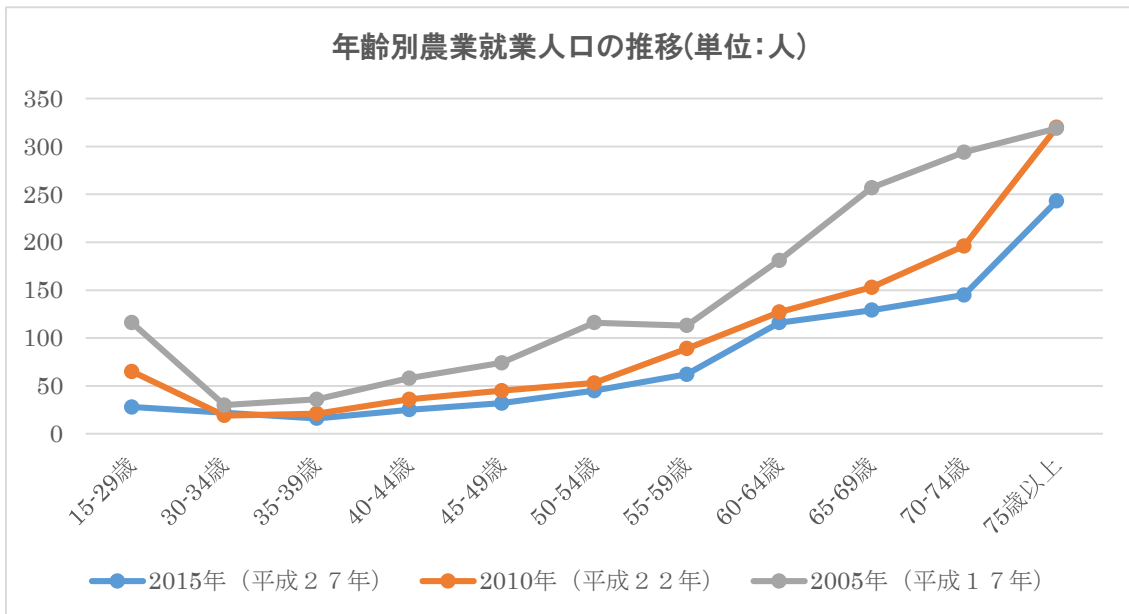
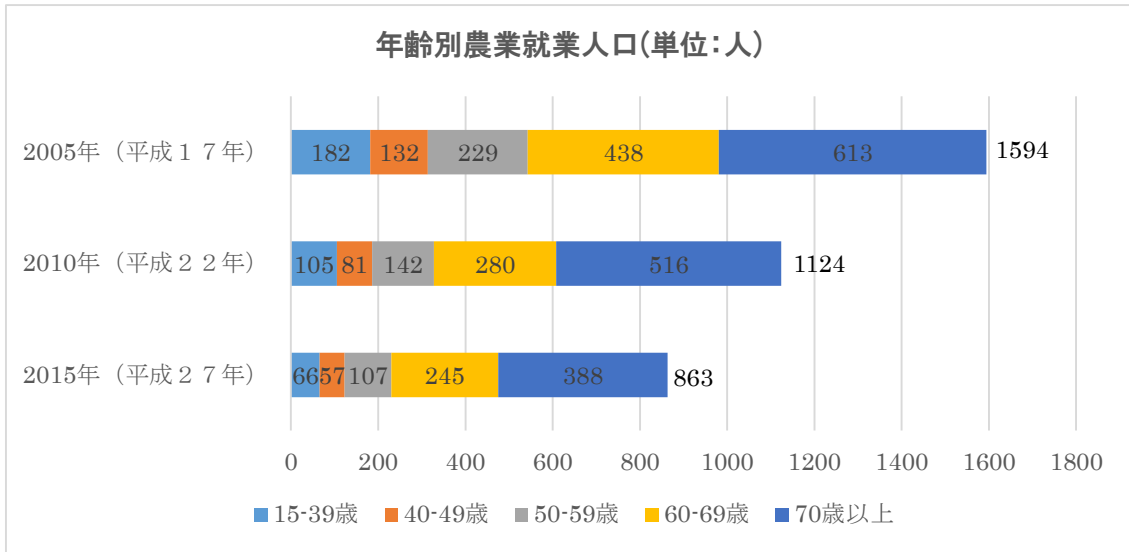


| | 総農家数 | 販売農家 | | | 自給的農家 |
|--------------|------|------|-------|-------|-------|
| | | 専業 | 第1種兼業 | 第2種兼業 | |
| 1995年(平成7年) | 1407 | 207 | 294 | 764 | 142 |
| 2000年(平成12年) | 1245 | 202 | 213 | 696 | 134 |
| 2005年(平成17年) | 1164 | 195 | 105 | 639 | 225 |
| 2010年(平成22年) | 920 | 191 | 100 | 354 | 275 |
| 2015年(平成27年) | 876 | 170 | 88 | 281 | 337 |

(※第1種兼業は、農業により収入の方が高い兼業農家、第2種兼業は農業外の収入の方が高い兼業農家のこと)

総農家数は、876戸で5年前と比べ44戸(5%)減少、10年前と比べると288戸(25%)減少した。そのうち販売農家は539戸で5年前、10年前と比べて、それぞれ106戸(16%)、400戸(43%)減少した。

6. 年齢別農業就業人口の推移

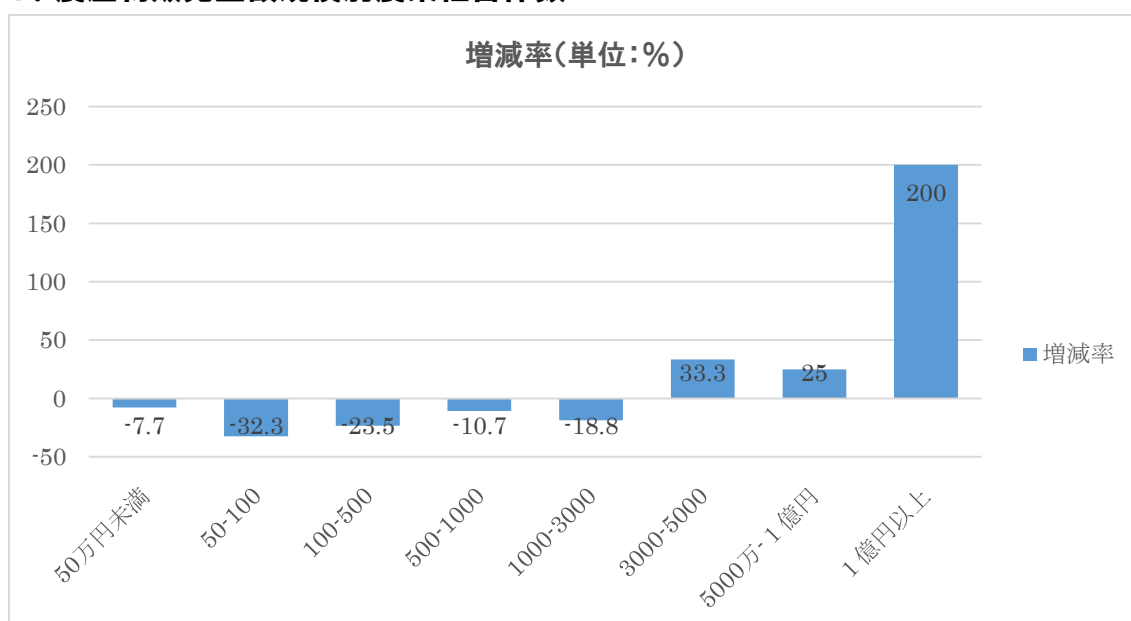


農業就業人口は、5年前と比べ261人、10年前と比べ731人減少した。また、平均年齢は65.1歳となった。

年齢別の農業人口の推移をみると、5年前と比べほぼ全年齢で農業就業人口は減少している中、30～34歳の層が若干ではあるが増加している。

また、全農業就業人口における60歳以上が占める割合は、73.4%となり、5年前と比べ2.6ポイント、10年前と比べると7.4ポイント増加した。一方、40歳未満が占める割合は、7.6%となり、5年前、10年前と比べそれぞれ、1.7ポイント、3.8ポイント減少した。

7. 農産物販売金額規模別農業経営体数



このグラフは、農産物の販売金額について、5年前の値を100とした場合各層にどの程度の割合で増減があったのかを表している。

5年前と比較すると3,000万円以上の層で、増加率が高くなっている。

※この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口（e-Stat）の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。

【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】